

# 79th Interim

---

# Vitamin Report

自然の恵みにとことんこだわる

 **理研ビタミン株式会社**

**第79期 第2四半期 株主通信**

2014年4月1日から2014年9月30日まで

証券コード：4526

# Vitamin Report 株主の皆さまへ

ビタミンレポート



## 経営理念

わたしたち理研ビタミンは、「天然物の有効利用を図る技術と商品で、人々の健康と栄養に寄与し、社会に貢献する」という「企業理念」を創立以来一貫して守ってきました。

この「企業理念」を継承し、「経営理念」としています。

1

社会に対し、食を通じて  
健康と豊かな食生活を提供する

2

コンプライアンス精神に基づいた  
事業活動を行い、社会的責任を果たす

3

フレキシビリティのある  
かつ創造性に溢れた企業として発展する

4

事業活動の視点・範囲を海外にも向け  
「世界の理研ビタミン」としてのブランドを高める

5

人間尊重の思想に基づき  
魅力ある職場をつくる

当社株式は、2014年(平成26年)12月3日、東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄となりましたことをお知らせいたします。

これもひとえに、株主の皆さまをはじめ、多くの関係者の皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も、皆さまのご期待にお応えすべく、業容の拡大と企業価値の向上を目指してまいりますので、引き続きご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご挨拶とともに、2015年3月期第2四半期の業績の概況についてご報告申し上げます。

## 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における国内外経済は、企業業績および雇用情勢に改善傾向が見られたものの、消費税率引き上げに伴う3月までの駆け込み需要の反動の長期化や、新興国経済の成長減速への警戒感もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界においては、販売競争激化の中で、為替変動に伴う物価上昇など消費マインド減退の懸念材料に加え、フードディフェンス等「食の安全・安心」に繋がる取り組みも強く求められ、それらへのしっかりとした対策と実践に注力する状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、

◇中核事業での収益力向上

◇海外事業を成長エンジンと見据えた運営強化

を基本に据えて、2012年4月より取り組みを開始した「中期経営計画」の最終年度における諸施策を推進いたしました。

国内では、顧客ニーズに的確に対応した価値提案型の活動が奏功し、「改良剤」事業が堅調に推移しました。また、先の震災により大きな影響を受けた「海藻」事業は、完全回復への取り組みの一環として注力している『冷凍海藻』が着実に浸透し、実績化に繋がりました。しかし、消費税率引き上げに伴う反動減の長期化が各分野に影響したことに加え、主力である「ドレッシング」においては、夏場の天候不順の影響も強く受けました。

一方、海外では、「改良剤」が、設備投資による工場の生産能力の拡大や、アジア・欧米をはじめとする各エリアの既存市場での深耕、成長が見込める新市場の開拓・販売拡大に向けた取り組みに注力したことにより、確実な実績化を図ることができました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は411億23百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は20億8百万円(同15.5%減)、経常利益は20億71百万円(同18.1%減)、四半期純利益は15億69百万円(同4.0%減)となりました。

なお、当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つと考えており、業績の伸長に合わせ、配当性向、経営基盤強化のための内部留保等を総合的に勘案しながら、長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とし、連結配当性向30%以上を目標として実施してまいります。

中間配当につきましては、1株につき27円50銭とさせていただきます。2014年12月9日よりお支払を開始させていただきます。

また、この度の東京証券取引所市場第一部指定を記念いたしまして、2015年3月期の期末配当において、普通配当に加え1株につき5円の記念配当を実施させていただくことといたしました。

この結果、2015年3月期の1株当たりの期末配当金は、普通配当27円50銭に記念配当5円を加え32円50銭となり、年間配当金は、1株当たり60円となる予定であります。

## 今後の見通し

少子高齢化に伴い国内食品市場における総需要が伸び悩むなど、厳しい消費動向が予想される中、為替相場の大きな変動や世界に散在する地政学的リスクもあり、当社グループを取り巻く事業環境は、不透明感を払拭できない状況が今後も継続するものと予想されます。

このような環境のもと、当社グループとしましては、国内外での中核事業の一層の収益力向上を図るべく、「中期経営計画」の仕上げの年度として掲げる諸施策に継続して真摯に取り組んでまいります。

当期の年間見通し(連結)につきましては、売上高880億円、営業利益52.5億円、経常利益53億円、当期純利益38億円を見込んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

保美博

# セグメント別事業概況

	売上高・構成比	事業内容	第2四半期の概況	売上高の推移 (百万円)						
国内食品事業	<p><b>国内食品事業 67.8%</b></p> <p>281億94百万円 (前年同期比98.7%)</p>	<p><b>家庭用食品 20.5%</b> ノンオイルドレッシング、わかめ製品、和風調味料、レトルト食品等を一般ご家庭向けに提供しています。</p> <p><b>業務用食品 24.1%</b> 家庭用食品の 카테고리に加え、各種調味料やスープといった加工食品を給食・外食産業等に提供しています。</p> <p><b>加工食品用原料等 23.2%</b> 国内加工食品メーカー向けに、原料や素材となる食品用改良剤・色素・ビタミン等を、医薬品・食品メーカー向けにビタミン等を幅広く提供しています。</p>	<p><b>第2四半期の概況</b></p> <p>国内食品事業は、「業務用食品」が前年同期並みで着地したものの、「家庭用食品」「加工食品用原料等」がそれぞれ前年同期を下回り、トータルでも前年同期を下回る結果となりました。</p> <p>海藻商品が「家庭用」「業務用」共に前年同期を上回った一方で、市販ドレッシングは、『ごちそうマジック<sup>®</sup>』の実績化はあったものの、夏場の天候不順による野菜価格高騰の影響を受け、伸び悩みました。</p> <p>食品用改良剤は堅調に推移しましたが、健康食品向けのビタミンなどが消費税による駆け込み需要の反動の影響を受け、売上が減少しました。</p>	<p><b>売上高の推移 (百万円)</b></p> <table border="1"> <tr> <th>通期</th> <th>第2四半期</th> </tr> <tr> <td>57,125</td> <td>28,554</td> </tr> <tr> <td>2014年 3月期</td> <td>2015年 3月期</td> </tr> </table>	通期	第2四半期	57,125	28,554	2014年 3月期	2015年 3月期
通期	第2四半期									
57,125	28,554									
2014年 3月期	2015年 3月期									
国内化粧品その他事業	<p><b>国内化粧品その他事業 7.3%</b></p> <p>30億49百万円 (前年同期比103.5%)</p>	<p>プラスチック、農業用フィルム、食品用包材といった国内化粧品メーカー向けに改良剤を提供しています。</p> <p>その他事業としては、飼料用ビタミン等を販売しています。</p>	<p>「化粧品(改良剤)」は、一部低調な分野もありましたが、前年同期並みの実績を確保しました。</p> <p>「その他」の事業では、飼料用油脂が前年同期を上回りました。</p>	<p><b>売上高の推移 (百万円)</b></p> <table border="1"> <tr> <th>通期</th> <th>第2四半期</th> </tr> <tr> <td>6,135</td> <td>2,945</td> </tr> <tr> <td>2014年 3月期</td> <td>2015年 3月期</td> </tr> </table>	通期	第2四半期	6,135	2,945	2014年 3月期	2015年 3月期
通期	第2四半期									
6,135	2,945									
2014年 3月期	2015年 3月期									
海外事業	<p><b>海外事業 24.9%</b></p> <p>103億55百万円 (前年同期比103.3%)</p>	<p>食品用改良剤、化粧品用改良剤、水産加工品等を海外拠点で生産・販売しています。</p> <p>販売先は数十カ国にわたっています。</p>	<p>「改良剤」分野において、アジア・欧米をはじめとする各エリアの既存市場での深耕と、成長が見込める新市場の開拓・販売拡大に取り組んだ結果、確実な実績化を図ることができました。</p> <p>また、水産加工品を扱う青島福生食品有限公司の売上も、前年同期を上回りました。</p>	<p><b>売上高の推移 (百万円)</b></p> <table border="1"> <tr> <th>通期</th> <th>第2四半期</th> </tr> <tr> <td>23,096</td> <td>10,029</td> </tr> <tr> <td>2014年 3月期</td> <td>2015年 3月期</td> </tr> </table>	通期	第2四半期	23,096	10,029	2014年 3月期	2015年 3月期
通期	第2四半期									
23,096	10,029									
2014年 3月期	2015年 3月期									

※上記の各事業の数値には、セグメント間の内部売上高を含めています。構成比は調整前の数値です。

# 海外展開を支える主な生産拠点のご紹介

当社は、1991年に海外で初めての生産拠点となる「リケビタ・マレーシア」を設立。以降、拠点を増やしながら生産規模を拡大し、設備を充実させてまいりました。今特集では、グループの海外生産拠点のうち3箇所をご紹介します。



## リケビタ・マレーシア RIKEVITA (MALAYSIA) SDN. BHD.

リケビタ・マレーシアは、1991年に当社グループ初の海外生産拠点としてマレーシア・ジョホール州テブラウに設立されました。現地の豊富な資源であるパーム油を原料として蒸留モノグリセライド(乳化剤の一種)を生産し、世界の市場へと輸出しています。



最新の生産管理システム



- 所在地  
マレーシア ジョホール州
- 生産能力  
年間 54,000トン

### ▶リケビタ・マレーシアのあゆみ

1991年 設立	2002年 第2次増設 完成
1992年 蒸留モノグリセライド生産開始	2008年 第3次増設 完成
1995年 製剤工場 完成	2014年 第4次増設 完成

## 新プラント増設 竣工式を開催！

リケビタ・マレーシアでは、今年本格稼働を開始したD-5号機の竣工式が9月に行われ、関係者・取引先など多くの来賓が出席されました。席上では堺社長が謝意を述べ、式典後、視察が行われました。

D-5号機は蒸留機の1つで、モノグリセライドの生産量が40トン/日を誇る大型設備です。この稼働により「世界トップレベルの乳化剤工場」としての地位を、より盤石なものとなりました。

リケビタ・マレーシアの生産能力の増強は、成長市場の開拓・販売拡大に向けた重要な施策であり、今後の更なる発展が期待されています。



D-5号機(写真左)



挨拶する堺社長



竣工式の模様



## 天津理研維他食品有限公司 TIANJIN RIKEVITA FOOD CO., LTD.

天津理研維他食品有限公司は、1994年に天津市西青経済開発区の5万㎡という広大な土地に設立されました。

原料や工程、品質の徹底した管理を行い、主に中国国内向けの食品用改良剤と、中国国内および海外向けの化成品用改良剤を生産しています。



- 所在地  
中華人民共和国 天津市
- 生産能力  
年間11,000トン

## 化成品アプリケーション センターを併設！

2012年、化成品用改良剤を扱うアプリケーションセンターを敷地内に新設しました。

理研ビタミングループの各海外販売会社と協力し、技術サービスを中国国内にとどまらず、グローバルに提供しています。



プラスチック用添加剤性能評価機械

### 化成品用改良剤とは？ 代表的な機能のご紹介

- 防曇** 農業用ハウスやラップフィルムなどの表面が水滴で曇るのを防ぐ。
- 離型** CDやDVDなどの製造時、型から取り出しやすくする。
- 帯電防止** プラスチック製品などの静電気を抑え、ホコリ付着を防ぐ。



## ガイモン・エクストラクツ

GUYMON EXTRACTS INC.

ガイモン・エクストラクツは、2004年にオクラホマ州ガイモン市に設立されました。工場に隣接する協力会社から、トレーサビリティが明確で新鮮な豚骨の供給を受け、衛生的な工場にて安全で高品質なポークエキス及びポークオイルを生産しています。

主な製品は、食塩を配合した常温タイプのポークエキス、無塩の冷凍からスープ、ポークエキスとポークオイルを乳化させた白湯エキスです。

製品のほとんどは日本に輸出され、当社商品の原料や加工食品メーカー向けの原料として用いられています。最近では、外食産業でも使用されはじめています。

また、2013年より冷凍からスープを北米（USA、カナダ）でのラーメン市場にも販売開始しました。理研ビタミンUSAと連携して更なる海外展開を進めていきます。



- 所在地  
アメリカ合衆国 オクラホマ州
- 生産能力  
年間 1,700トン

### ▶ガイモン・エクストラクツの歩み

2004年 会社設立	2007年 冷凍からスープ(5kg)生産開始	2013年 北米向け冷凍からスープ生産開始
2005年 ポークエキス生産開始	2012年 冷凍庫・倉庫拡張	2014年 冷凍からスープ(1kg)生産開始



エキス最終調整タンク



小分け包装機

## サポートプラス『ウマイ青汁』新発売

「慢性的な野菜不足」「善玉菌の減少」を、簡単に美味しくサポートしたいという思いから、乳酸菌発酵トマトエキスを配合した『ウマイ青汁』を上市いたしました。

主原料は「大麦若葉」。豊富な食物繊維をはじめ、体に有用な栄養素を多く含んでおり、国内の契約農家で栽培したものを使用しております。また、この『ウマイ青汁』の最大の特徴は、「乳酸菌発酵トマトエキス」を配合しているところです。トマトエキスを発酵させることで乳酸が発生し、旨味がアップ。スッキリとした味わいが実現いたしました。

さらに、乳酸菌発酵トマトエキスは善玉菌を応援する働きもっており、腸内環境と栄養バランス、美味しさを追求して誕生したイチ推しの商品です。



## 3年連続「子ども霞が関見学デー」に参加

「子ども霞が関見学デー」は、府省庁等が連携して夏休み中の子どもたちに仕事内容を説明し、省内見学の機会を提供する催しです。当社は2012年より毎年農林水産省FCP\*事務局のブースに出展しており、今年の8月にも「わかめ」に関する展示と実演を行いました。

当社はポスター掲示等を通して来場者の方に当社商品が安全・安心であることをお伝えすると共に、原藻を使った実演では「わかめ」の生態や健康効果についてお子さんたちに楽しみながら学んでいただきました。

今後トレーサビリティのとれた安全な商品をお届けすることで、更なる食の信頼向上に努めてまいります。



\*FCP:消費者の「食」に対する信頼の向上に取り組むプロジェクトのこと

## 第18回業務用加工食品ヒット賞を受賞

当社の「冷凍海藻」シリーズが、日本食糧新聞社による「第18回業務用加工食品ヒット賞(和食部門)」を受賞し、9月16日の贈呈式に堺社長が出席しました。

同賞は全国の有力量業務用食品問屋からの推薦をもとに、外食産業の代表等で構成される選考委員会で4部門計12商品を決定し、表彰するものです。

今回は477商品の中から選出され、当社の受賞は5回目となりました。

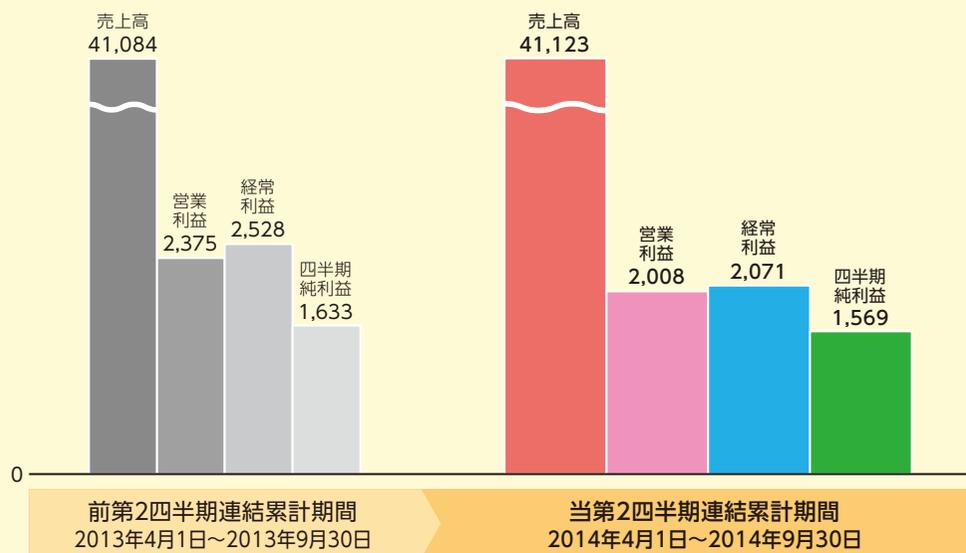
栄誉ある賞をいただいたことをしっかりと受け止め、より多くの方に海藻本来のおいしさをお届けしてまいります。



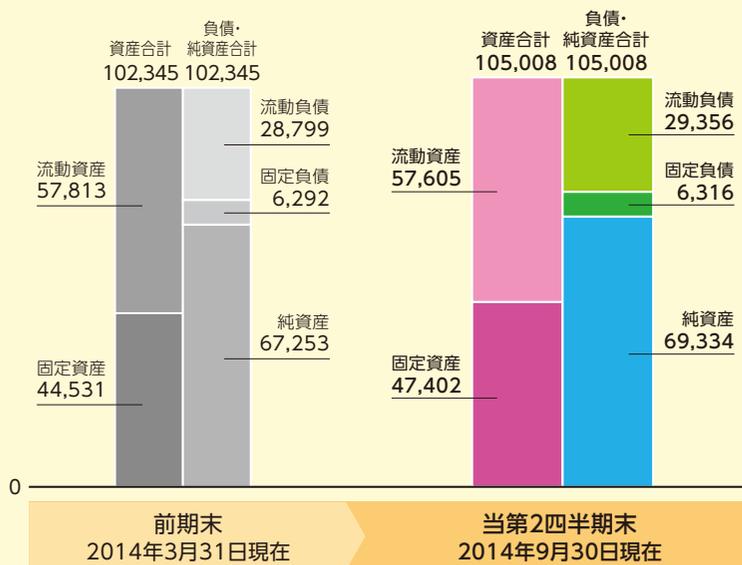
# 四半期連結財務諸表

(百万円未満は切り捨てて表示してあります)

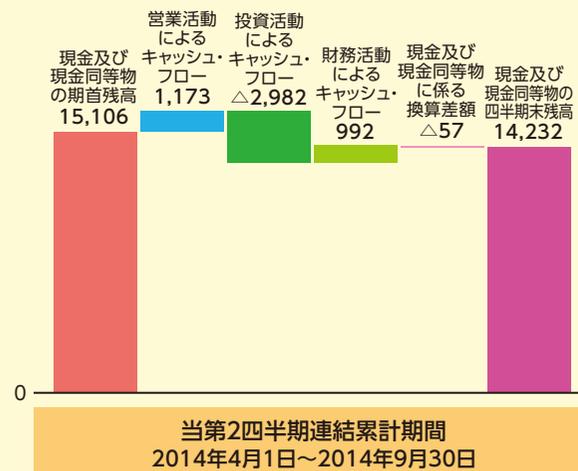
## ■四半期連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



## ■四半期連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



## ■四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



## “おいしさと健康”をお届けする ショッピングサイト 通信販売のご案内

主に当社の業務用商品を通信販売でもお求めいただけます。ドレッシングや海藻関連、その他さまざまな商品を取り扱っております。

ホームページをご覧ください。フリーダイヤルにてお問い合わせください。詳細なカタログをお送りいたします。

3,240円(税込)以上は送料無料です。

◎ホームページ

<http://www.riken-vita.jp/order/>

☎ 0120-087-319

## 創業時の理念が今に息づく

### ヘルスケア事業。

### その確かな素材を通信販売で!

ヘルスケア事業部では、科学的根拠に基づいた健康食品を通信販売にて扱っております。血圧が高めの方に向けた、トクホの『わかめペプチドゼリー』をはじめ、乳酸菌発酵トマトエキスを配合し、毎朝のスッキリとおいしさを両立した『ウマイ青汁』などをご用意しております。

◎『サポートプラス』

<http://www.riken-supportplus.jp/>

◎おいしい健康情報『健康成分ラボ』

<http://www.rikenvitamin.jp/healthcare>

理研 健康成分ラボ

検索

☎ 0120-735-123

# 会社概要

## ■会社概要 (2014年9月30日現在)

商号	理研ビタミン株式会社
設立日	1949年8月27日
本社所在地	〒101-8370 東京都千代田区三崎町2-9-18
TEL(代表)	03-5275-5111
ホームページアドレス	http://www.rikenvitamin.jp
資本金	2,537百万円
事業内容	家庭用食品、業務用食品、加工食品用原料、 食品用改良剤、化成品用改良剤、ビタミン 類などの製造・販売
従業員数	930人(連結2,778人)

## ■国内事業所 (2014年9月30日現在)

本社 本社別館 大阪支店 札幌支店 仙台支店  
 北関東支店 名古屋支店 広島支店 福岡支店  
 草加工場 千葉工場 東京工場 京都工場 大阪工場  
 アプリケーションセンター プレゼンテーションセンター

## ■主な連結子会社

### 国内子会社

理研食品株式会社  
 株式会社健正堂  
 栄研商事株式会社

### 海外子会社

天津理研維他食品有限公司  
 青島福生食品有限公司  
 理研食品(大連)有限公司  
 理研維他精化食品工業(上海)有限公司  
 理研維他垂細垂股份有限公司  
 RIKEVITA(MALAYSIA)SDN.BHD.  
 RIKEVITA(SINGAPORE)PTE LTD  
 RIKEN VITAMIN USA INC.  
 GUYMON EXTRACTS INC.  
 RIKEN VITAMIN EUROPE GmbH

## ■株式の状況 (2014年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 ..... 90,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 23,652,550株
- 株主数 ..... 6,989名

大株主(上位10名)	持株数(千株)	持株比率(%)
キッコーマン株式会社	7,593	34.34
武田薬品工業株式会社	2,076	9.39
理研ビタミン取引先持株会	1,361	6.16
株式会社みずほ銀行	1,102	4.98
永持 孝之進	686	3.11
三菱UFJ信託銀行株式会社	600	2.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (ミヨシ油脂株式会社退職給付信託口)	540	2.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	527	2.38
伊藤忠商事株式会社	400	1.81
株式会社安藤・間	328	1.49

(\*1) 当社は、自己株式1,540千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
 (\*2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## ■所有者別株式分布状況



## ■所有株数別分布状況



## ■取締役および監査役 (2014年9月30日現在)

代表取締役社長 執行役員	堺 美保
代表取締役副社長 執行役員	山下 隆
代表取締役専務取締役 執行役員	伊東 信平
常務取締役 執行役員	大澤 寛
常務取締役 執行役員	中山 和美
常務取締役 執行役員	山木 一彦
取締役 執行役員	属 博史
取締役 執行役員	細谷 清夫
取締役 執行役員	仲野 隆久
取締役 執行役員	指田 和幸
常勤監査役	富士縄 昭平
常勤監査役(社外)	佐藤 和弘
監査役(社外)	北原 弘也
監査役(社外)	竹俣 耕一

## ■執行役員 (2014年10月1日現在)

執行役員	吉田 正臣
執行役員	鈴木 修
執行役員	金森 一彦
執行役員	矢野 邦樹
執行役員	有賀 朗
執行役員	藤田 満
執行役員	齋藤 桂
執行役員	原 守
執行役員	清水 雅彦
執行役員	黒澤 道夫
執行役員	加藤 栄一
執行役員	中村 一知
執行役員	道津 信夫
執行役員	望月 敦

# 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 証券代行部  
 〒137-8081  
 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 TEL：0120-232-711  
 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所  
 公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL：  
<http://www.rikenvitamin.jp>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

## お知らせ

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承っております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 新商品紹介

### 『リケンのノンオイル セレクティィ。ハーブ&ソルト』

食欲をそそるハーブ(タイム、オレガノ、ディル)の香りと、岩塩のまろやかな塩味が特徴。サラダや肉に、これ1本で幅広いメニューに使用できます。



### 『リケンのノンオイル セレクティィ。胡麻』リニューアル

ごま原料を見直し、ごまの香ばしさがアップしました。20kcal/15g。



### 『ごちそうマジック。ピザ味ドレッシング』

煮込んだトマトと野菜の旨味とほのかなチーズの風味。パジル・玉ねぎ・にんにくの“極旨(ごくうま)オイル”を使用。オイルが入ってもカロリーハーフ\*。



\*日本食品標準成分表2010 フレンチドレッシング比

### 『素材力だし。』に中華系の『鶏がらスープ』

旨味豊かな丸鶏を使用し、鶏本来の香りと濃厚なコクが広がる鶏がらスープ。化学調味料無添加のため素材本来の美味しさが味わえ、食塩無添加なのでメニューや食材によってお好みの塩加減に調整することができます。



### 『わかめスープ 海老しおスープ』

海老の美味しさが頭からしっぽまでまるごと溶け込んだ、香り・甘味・旨味がしっかりと味わえる満足感のあるスープ。



### 『コリコリ茎わかめ』新発売

まるで生のような食感の茎わかめとプチプチとした炒りごまが後を引きま。混ぜやすく、蒸らさずにそのまますぐに食べられる便利さはソフトタイプならでは。素材や製法にこだわりながらも手取りやすい価格にしました。



『コリコリ茎わかめ』シリーズ

### 北海道限定

#### 『ふえるわかめちゃん。北海道』

北海道道南の海峡特有の潮流で育てられたわかめを使用。

\*札幌支店管内限定販売



## おすすめ！ レシピ

フライパンで簡単！  
 鮭のちゃんちゃん焼き

今回使うのはコレ！



### 材料(2人分)

- ・生鮭 ..... 2切れ
- ・キャベツ ..... 3~4枚(約150g)
- ・しめじ ..... 1/2パック
- ・エリンギ ..... 中1本
- ・味噌 ..... 大さじ1強
- ・酒 ..... 大さじ1強
- ・『素材力だし。本かつおだし』 ..... 1本
- ・油 ..... 大さじ1

### 作り方

- ① 鮭は皮付きのまま3~4cm幅に切る。キャベツはざく切り、しめじは石づきを取って小房に分け、エリンギは手で適当な大きさにさく。
- ② 味噌・酒・『素材力だし。本かつおだし』を混ぜておく。
- ③ フライパンに油を熱し、鮭を裏返ししながら焼く。火が通ったらキャベツを入れて軽く炒め、エリンギ、しめじを入れる。
- ④ ②を回し入れて、さつとからめたら出来上がり。



かつお風味がよく効いたちゃんちゃん焼きです。

## 株主優待のお知らせ

株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、理研ビタミンの事業内容をより一層ご理解いただくため、株主優待制度として理研ビタミン製品を贈呈しております。

- 対象株主様 毎年3月末および9月末現在の株主名簿に記載された所有株式数100株以上の株主様。
- 優待内容 それぞれの基準日現在の対象株主様に対し、保有期間および保有株式数に応じて下記の基準で当社製品を贈呈いたします。
- 贈呈予定時期 毎年6月下旬および11月下旬に贈呈いたします。

保有株式数	保有期間 3年未満	保有期間 3年以上
100株以上~500株未満	1,000円相当	2,000円相当
500株以上~1,000株未満	2,000円相当	3,000円相当
1,000株以上~3,000株未満	3,000円相当	4,000円相当
3,000株以上~	4,000円相当	5,000円相当

(注)『保有期間3年以上』の対象となる株主様は、毎年3月末および9月末の株主名簿に同一株主番号で、7回以上連続して記載された株主様となります。



\*写真はイメージです  
 ※パッケージは変更になる場合があります